



青南だより

令和5年9月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<夏休みだからこそその時間や体験の共有>

一学期の終業式では「夏休みには家族の一員としてできることをする」「身の回りのことを自分ですること」を頑張るように子どもたちに話しました。夏休みの記録を見ると、身の回りのことに取り組んでいる報告や、久しぶりに田舎の親族と過したり、普段できない体験を楽しんだりした様子もありました。一緒に過ごす時間が長い分、子育ての大変さを感じられたかもしれません、時間や体験を共有することで家族としてのきずなが深まったのではないのでしょうか。

<子どもの育ちを促すために>

夏休み中には、教職員が協力して園庭や畑、プランターなどの整備を行いました。さて、子どもは日々の小さなことの積み重ねを通して育ち合うものですが、保育という営みと植物の手入れなどは相通じることが多くあります。伸びようとする芽を支える際に大事なものは、小さな変化を見逃さないことです。身の回りのことも、やれそう！やってみよう！というタイミングを捉えるために、よく見るのがコツですね。

<足に合った靴を正しく履きましょう>

青南幼稚園は、足元からの健康を守る取り組みを続けています。正しい履き方を身に付ける教材としての靴の貸与を受け、足にピッタリ合った靴を履いています。手を使って丁寧に脱ぎ履きする習慣は、ご家庭での協力も欠かせません。靴を履く際の合言葉は「ベリベリ、トントン、ギュー、ピタッ！」です。正しい靴の履き方などは改めて Zoom 保護者会でもご説明します。ホームページの「青南足育研究所」のコーナーで紹介していますので、そちらも併せてご覧ください。

青南の
二十四節気

・・・長月（ながつき）・・・

白露（8日）… そろそろ秋の空気に入れ替わります …

秋分（23日）… 暑さ寒さも彼岸まで、と言いますが …

この夏も猛暑や大雨が続き、全国各地で多くの被害も出て、心が痛みました。エアコンなどの大がかりな工事でも2学期に向けて順調に進んでいます。猛暑の中、子どもたちのためにたくさんの方が力を尽くしてくれていることに改めて感謝します。

暑さは続いています、ツクツクボウシの声も聞こえ、朝晩には草むらからコオロギなどの鳴く虫の声も聞こえるようになっています。ほんの少しずつですが、季節の移ろいを感じます。



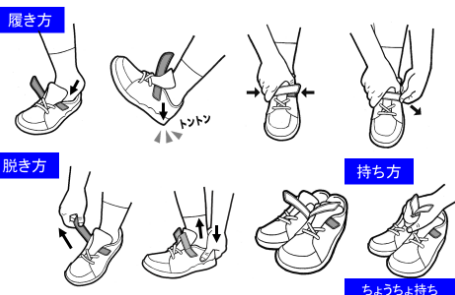
サツマイモはグングンとつるを伸ばしています



野菜も手入れして、日陰に集めて世話しています



竹や笹や下草も適度に減らして整えました



両手を使って丁寧に、正しい履き方を身に付けましょう



大型クレーンで屋上の
室外機を入れ替えました

